

I J 学級通信

西東京市立青嵐中学校
校長 古家 新一
I J 学級 学級通信 No. 20
令和5年 10 月 23 日 (月)

合唱コンクール

I J 学級スローガン 未来讃歌～誰かの背中を押すような歌を～

10月14日(土)に、全校生徒、そして入れ替え制ですが保護者の方々にも鑑賞していただける形で合唱コンクールが開催されました。この人数が体育館に集まるのは本当に久しぶりのことです。3年生にとっては修学旅行、マラソン大会、学校公開など3週続けての土曜日の行事や授業でした。体力的にもぎりぎりのところだったのではないのでしょうか。どの行事にも積極的に取り組み、よく頑張りました。大勢の観客の前でI J学級は一番最初の発表でした。とても緊張したことでしょう。しかし、これまでの練習は確実に力となっていました。1学期から曲決め、パート練習を始めました。パートリーダーはソプラノFさん、テノールをSさんが担当してくれました。パート練習では中心的役割を果たしてくれました。Tさんが「OMNIBUS STAR 光年の旅」の指揮を、Kさんが「ぜんぶ忘れない」の指揮を積極的に引き受けてくれました。頑張ってくれました。Hさんは「OMNIBUS STAR 光年の旅」の伴奏です。3人とも家で練習を重ねましたね。夏休みに登校して練習したり、放課後も残ってくれました。そして、みんなの力が合わさった素晴らしい歌声でした。聴いてくださった方々に感動を与えてくれました。後ろの通常学級1年生の席からは「最初にこんな歌声で歌われたら僕たちどうしたらいいんだろう。」との声が聞こえました。また、涙する先生方もいました。I J学級の1, 2年生は今回の3年生の姿を見て刺激になりました。来年は自分たちが頑張らないといけないという意識を持つことができました。制限された人数でしたがご来校してくださった保護者の方々には感謝いたします。本当に素晴らしい合唱でした。さあ次は移動教室です。このまま盛り上がっていきましょう。



S 先生より

ここまで約3か月の合唱コンクールへの取り組みお疲れさまでした。

今年はパート練習に力を入れ、パートそれぞれの声量や音程を大切にしてきました。

指揮者と伴奏者と1J学級のみんなの声が合わさっていく過程で、何度も鳥肌が立つ瞬間があり、感動しました。

自分を表現することに自信を持って、これからの学校生活につなげていってほしいです。

ここまでがんばってくれてありがとうございました。

音楽講師 ES

『私の指揮』

3年1学級 NKさん

私の指揮はすごく独特だと思う。それは私でもわかっている。まるで鳥がはばたいているような指揮だと、どっかのだれかさんに言われた記憶がある。だが、それには深い理由がある。

それには母が関係している。高校時代、母は合唱コンクールで指揮者をしていた。私はそんな話を聞いていた。だから小さいころから指揮をやりたいと指揮者にあこがれていた。

だが、指揮者はあこがれてなれるものでもないし、なってもそもそもリズムがつかめない。私はすごく困った。何とか指揮になったが、なった後が問題だらけで困った。指揮が早くなることや練習には遅刻してしまうなどがあった。時々指揮が嫌になったこともあった。けれどあきらめずに指揮を続けた。

ある日、母に言われた。それは指揮者とは表現者だから、曲に合った指揮をしなさいと。それから徐々に私は指揮が上手になったと自分でも思う。

そして、今の指揮の形になった。足で拍を数えて、三拍子は少し強くふり、ハトがはばたくように指揮をする。本当はもっとこだわっているところがあるが今はいい。

私の指揮には、母が深く関係し、K先生やS先生の助言を意識した指揮となっている。それが指揮者として、表現者としての私だ。

『合唱コンクール』

2年1学級 RIさん

私は中学校に入ってから合唱コンクールを初めてやりました。全校生徒がいる中で一番に歌うのは、最初はすごく緊張しました。でも、歌っている途中、余裕が出てきて緊張がほぐれてきました。そのおかげで途中からはさらに大きな声で歌えたり、堂々と歌えたりと自信がついてきました。最後までやり切れて嬉しかったです。

他にも通常学級の三年生の合唱が印象に残っています。やっぱり三年生が歌っているのを聞いたら、二年生より透き通るような声だったり、指揮者が堂々としていてカッコよかったことが印象に残っています。

来年は今年の三年生をこせるように頑張りたいと思います。

『合唱コンクール』

1年1学級 KMさん

青嵐中学校は、10月14日に合唱コンクールでした。僕は最初は何も気にせず歌って、練習していました。合唱コンクールが近づくにつれて緊張がやってきました。当日、学校に来て最後のパート練習まではあんまり緊張していなかったけど体育館に入って緊張しました。でも歌が始まると、全然緊張しないで歌いきることができました。次の合唱コンクールは今の三年生がいないから、S先輩を目標に音楽をしていきたいと思います。また、私は指揮者もやってみたいと思いました。なぜなら、T先輩のように堂々と指揮をしてみたいと思ったからです。K先輩は体全体を使って指揮を振っていたので歌いやすかったです。H先輩の伴奏は大きな音でとても歌いやすい伴奏でした。